

シンポジスト 1

歯科口腔保健法と今後の課題



参議院議員 大久保 潔重

略 歴

長崎大学歯学部卒業

【国会の所属委員会・役職】

内閣委員会／理事

行政監視委員会／委員

政府開発援助等に関する特別委員会／委員

消費者問題に関する特別委員会／委員

【所属議員連盟】

民主党歯科医療議員連盟／事務局長

ドクターヘリ推進議員連盟（超党派）／事務局長

民主党「整備新幹線」を推進する議員の会／事務局長

民主党港湾振興議員連盟／事務局次長

「島の振興」議員連盟／副幹事長

民主党「水産振興議員連盟」幹事

本年3月11日、未曾有の自然災害が我が国を襲いました。三陸沖を震源とする想定を遥かに超えるM9の巨大地震と大津波は、東日本の広範囲に甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表し、被災された全ての皆様にお見舞い申し上げます。また震災直後からご遺体の身元確認作業や避難所での口腔ケア等、身を粉にしてご尽力頂いております全国の歯科医師の先生方に心から感謝を申し上げます。

被爆県である長崎県選出の議員として私は4月、5月の3度にわたり福島県を訪れました。日本歯科医師会からお預かりした救援物資を福島県歯科医師会にお届けした際は、金子振会長からは被災者に係る一部負担金免除期間の延長、被災地の仮設診療所開設、避難地域会員への対応等の強い要望を受けました。二本松市やいわき市などの避難所では、着の身着のまま避難されている200名の方々から一時帰宅許可や生活一時金の配布を要望され、営農や風評への不安と同時に今後の生活再建に向けたご意見を賜りました。これらの声に応え、一日でも早い福島第1原発の収束に向け、全力で取り組んでまいります。

さて立法府における命題として、皆様にお約束しておりました歯科界の長年の悲願である「歯科口腔保健法」を第177回通常国会において議員立法で成立する事ができました。私自身も平成19年の初当選以来、この法案作成に携わってきて途中は本当に紆余曲折ありましたが、全会一致で可決できました事、万感の思いであります。

今後とものご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。